



# 北心だより

令和8年7月2日 NO. 4【訂正版】



学校教育目標

夢に向かって 輝き合う子

## ・・・命の月間を通して・・・

毎年本校は、6月1日から3週間、「命の月間」として命について考える取り組みをしています。各学級で「命」「いじめ」について話し合いをした後、代表委員会でさらに話し合いを深めました。そして6月17日には、みその委員会中心に「いのちの集会」が開かれました。一週間後にその集会を踏まえて校長が全校の児童に話をしました。

今年度の「いのちの集会」のテーマは、「あなたのかかわりで相手を救う」です。集会では、代表委員会で話合って決定した「北北いじめゼロなかよし宣言」を発表しました。また、こんなことがあったら自分はどう思うのかという動画を見て、その時の気持ちを縦割り班で話し合いました。そして、心のメーターに表しました。縦割りグループで話している様子の中で「こんなこと言われたらいやな気持ちになるから心のメーターはこっち」「やっぱりそうだよね」「もう少しこっちじゃない」などと口々に真剣に話し合っていて決まってく姿が見られました。まさに本校の合言葉である「かかわり」だと思いました。人によって考え方が違うということも分かり、この活動は児童にとって非常に有意義な時間でした。



【心のメーター 話し合いの様子】

この後、私は校長として「あなたのかかわりで相手を救う」についてパワーポイントを使いながら話をしました。以下は抜粋したものです。

### 【6月24日 つどい 校長の話 抜粋】

先週の6月17日、「いのちの集会」がありました。テーマは「あなたのかかわりで相手を救う」です。それぞれのクラスで考え、代表委員会で決まった「北北いじめゼロなかよし宣言」ができました。美蘭委員会のみなさんが一生懸命に準備運営をしてくれました。ありがとうございました。さて、今日、校長先生はみなさんに、集会を終えて私が思った「あなたのかかわりで相手を救う」についてお話をします。

この写真は何かわかりますね。そうですビオトープです。以前、校長先生はみなさんに、学校の「ビオトープ」のお話をしました。覚えていますよね。ビオトープには、たくさんのお木が立っています。お互いに少し離れて立っている木もあれば、寄り添うように立っている木もあります。一見すると、それぞれの木はバラバラに、一人ぼっちで立っているように見えますよね。でも、土の中はどうなっているでしょう。そう、土の中では、すべての木々の根っこが、まるで手と手をがっちりと握り合うように、深く、広く、つながり合っています。雨がふらなくても喉が渇いている木があればとなりの木の根っこを通

して水分を分け与えてもらいます。嵐が吹いて、激しい雨や風が襲ってきても、ビオトープの木々が倒れないのはなぜでしょうか。それは、目に見えない土の中で、根っこがしっかりとかがわり合っ、お互いを支え合っているからです。1本の木だけでは倒れてしまうような強い風でも、みんなでつながっているから、耐えることができるのです。そんな話をしました。私たち人もこのビオトープの木々とまったく同じです。

さあここで問題です。この数字（656）は何でしょうか。正解は、学校のみなさんの人数です。ここにいる全校のみなさんは、一人一人が違う人間です。好きなことも、得意なことも、少し苦手なこともあり、みんな違います。そして一人一人が、世界にたった一つしかない、大切な「命」を持っています。私たちは、普段は一人一人違う姿で活動していますが、実は、心の中でしっかりとつながっているのです。そのつながりのことを、学校の合言葉である「かかわり」と私は考えています。もし、誰かがいじめをしたり、チクチク言葉を使ったりしたら、どうなるでしょうか。それは、ビオトープの木の根っこを、ハサミで意地悪くチョコチョコと切ってしまうのと同じことです。根っこを切られた木は、どうなるでしょう。栄養が吸えなくなって、元気がなくなって、強い風が吹いたときに、ポキリと折れて倒れてしまいます。いじめは、人の「心の根っこ」を傷つけ、その人が生きようとする大切な「命の力」を奪ってしまいます。絶対にやってはいけないことです。そして相手の心のメーターを下げってしまうような行動は、相手の根っこを切るだけでなく、実は、それを言っている自分の根っこをだめにしてしまうのです。

校長先生は、この学校を、誰もが安心して自分の根っこを広げられる場所にしたいです。困っている人がいたら「どうしたの？」と声をかける。悲しんでいる人がいたら、隣にそっと寄り添う。うれしいことがある人と、一緒に喜び合う。そしてお互いにルールを守ること。そうやってお互いに温かくかかわり合うことで、みんなの心の根っこはどんどん強くなります。根っこが強くなれば、どんな困難な嵐が来ても、負けることはありません。つまり、あなたのかかわりで相手を救えるのです。

本校の学校教育目標は、「夢に向かって輝き合う子」です。自分の目標に向かって進むとき、一人きりで輝くのは難しいかもしれません。でも、周りの友達としっかりと根っこでつながり、支え合っていれば、お互いもっと「輝き合う」ことができます。

これからも、お互いにつながり、支え合いながら、この学校を笑顔あふれる、学校にしていきましょう。

今年度の重点は 主体的に活動する子の育成 合言葉は「かかわり」です。

自分が主体的に活動するためには、人とよいかかわりをするすることで、さらに主体性を成長させることができると考えています。人とかかわる力をもつ子は、次第に主体的に学ぶ意欲も高めていきます。かかわる力（人間関係能力、社会形成能力）をさらに伸ばしていくことがこれからの時代を生きていくために必要です。「かかわり」における具体的な子供の姿には「考えや思いを発信する。自他を大切にしておかかわる。互いの意見を聞き、自分たちで折り合いをつける。自分の役割を果たす。相手の話をしっかりと聴く、自分の考えを伝える、友達と協力して課題を解決する。・・・など」の姿があります。これは、他者と共に生きるための基礎となっていくことでしょう。

日頃から本校の教育に御理解と御協力、本当にありがとうございます。1学期は、後17日となりましたが、子供たちの健やかな成長のために教職員一同、精一杯取り組んでいきます。

校長 袴田 洋史